

平成22年12月7日

平成22年度 大阪輸送統括部 事故・災害復旧総合訓練の実施について

近鉄では、12月10日（金）、青山町車庫にて事故・災害復旧総合訓練を実施します。この訓練は、万一が事故が発生した際に迅速な対応が取れるよう毎年に行っているもので、今年は大雨により線路内に流出した土砂に列車が乗り上げ脱線するという想定で復旧訓練を行ないます。



昨年（平成21年）の事故・災害復旧総合訓練

1. 目的 重大な運転事故が発生した場合における救護、応急処置および復旧の体制を定め、死傷者の救護を迅速に行うとともに、円滑な応急処置と迅速な復旧を図ることを目的としています。
2. 実施日時 平成22年12月10日（金）10時30分から
3. 実施場所 青山町車庫 （住所：三重県伊賀市阿保114-5）
4. 想定事故
 - ・10時27分頃、大阪上本町駅行き急行が、伊賀神戸駅～青山町駅間で大雨により流出した土砂に乗り上げ脱線した。
 - ・当該列車の先頭車、第1台車の第1軸、第2軸が脱線し、機器（制動管）が破損した。
 - ・乗員乗客合わせて約120名が乗車しており、乗客11名が重軽傷を負った。
 - ・そのほか、電線路などに大きな損傷を受けている。
 - ・電線路および脱線を復旧後、故障処置を行い運転再開する。
5. 訓練項目
 - (1) 異常感知時の運転士の停止処置
 - (2) お客様および線路などの状態の把握ならびに運転指令者への状況速報
 - (3) 各部門による復旧訓練
 - ①運輸関係
 - ②車両関係
 - ③施設部 工務関係、電気関係
6. 訓練参加者および見学者
 - (1) 参加者：執行役員 大阪輸送統括部長 たぶちひろひさ 田淵裕久 以下約100名
 - (2) 見学者：各部門から 約150名 (以上)